

令和4年度 秋葉区組織目標に掲げた重点目標の指標一覧

No.	部区 組織目標	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価			
					項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標		
1	1	地域総務課	産学官及び地域等と連携し、新潟薬科大学が持つ知的資産と学生の感性やパワーを積極的に活かし、まちなか活性化や健康づくり、里山の魅力発信、人材育成等に向けた主体的な取り組みを進めます。	まちなか活性化実行委員会の開催 ・産学官連携による人材(学生)育成	新規事業又は事業改善数	—	—	1	1	1	・関係機関等との調整、事業の進行管理	・健康・自立フォーラムを2月に実施し、各部会の活動内容や大学の活動などのパネル展示を行った。 ・まちなか部会が中心となり新年度の2学部新設に向けた歓迎イベント(R5実施)を行う準備を進めた。	達成		
2					学生の地域づくり体験活動実施数(件)	1	0	1	1	1	・コミュニティフィールドワーク	・薬科大学応用生命科学部との連携により、アキハスプロジェクトPR動画の企画書を作成した。学生にとって秋葉区の再発見につながり、さらに深掘りする機会となり、今後の関係構築につなげることができた。	達成		
3			「アキハスプロジェクト」の理念のもと、秋葉区の特性や魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図ります。地域主体による移住・定住促進へ向けた取り組みを支援するとともに、市民活動に取り組む新たな人材を発掘・育成することで、地域・住民主体による魅力あるまちづくりを進めます。	・秋葉区ブランドや魅力の発信 ・秋葉区オンライン移住相談会 ・SNS動画コンテスト ・移住モデル地区等への支援	オンライン移住相談会の開催回数	—	—	1	2	2	・特設WEBサイトや各SNSによる情報発信 ・動画コンテスト入賞作品を活用したPR ・地域主体による魅力発信や移住者受入体制整備を支援 ・HAPPYターンモデル指定 金津里山地区(R1年11月)	・移住者との座談会を開催し移住者同士のネットワーク形成の必要性など率直な意見交換を行い課題を整理した。また、特設ホームページを随時更新し情報発信に努めた。 ・オンライン移住相談会を開催し、動画広告を効率的にターゲティングを行い、当日は9名の参加により実施した。移住予定の参加者からの質問を先輩移住者が回答するなど効果的な開催となった。	達成		
4			・新たな人材の発掘育成 ・教育懇談会の開催	取組み実施数(件)	2	2	1	2	2	2	・まちづくりに係る企画への支援等	・Akihaきらきらプロジェクトでは、これまでを振りかえり、活動の幅をさらに広げていくため改めてメンバーを募集し、12/2と2/10にカフェトークを開催した。新しいスタイルでテーマごとの自由な意見交換により、新たな人材発掘につながった。 ・8/31にコミュニティスクール基盤整備事業「講演会」と教育懇談会「グループワーク」を同時に実施し、各学校、地域の関係者によるコミュニティスクールへの主体的な関りを促すとともに関係者のネットワークづくりを行った。また、さらなるネットワークの構築と熟議の手法の理解を目的に、12/16に学校とコミ協の担当者向けの研修会を実施した。	達成		
5			2	地域総務課	住民主体の地域活動の深化に向け、コミュニティ協議会と協働で地域課題の解決や地域づくりを推進します。	・地域課題の解決策や区政の取り組みをテーマに、区長との意見交換を中心とした地区懇談会の開催	地区懇談会開催回数(回)	11	11	11	11	11	・地域からの課題をもとに意見交換	・コロナ禍により開催時間、参加人数の調整を行っての開催ではあったが、全11コミュニティ協議会で地区懇談会を実施し、各地域課題の解決に向け地域と連携し具体的な検討を行った。また、各地区の人口推移を説明し、人口減少を踏まえた各コミ協別のビジョンの必要性を説明した。	達成
6					「安心安全なまちづくり」を推進するため、土砂災害対策に取り組めます。	・土砂災害に係る避難情報の発令を想定した区災害対策本部事務局の災害対応訓練を実施することにより、災害時の情報伝達系統などの強化を図ります。	区災害対策本部事務局の災害対応訓練の実施回数	—	—	—	1	1	・区内の土砂災害警戒区域：155か所(うち95か所が土砂災害特別警戒区域) ※市全体の土砂災害警戒区域：310か所(うち219か所が土砂災害特別警戒区域)	・土砂災害に係る避難情報の発令を想定した区災害対策本部事務局の災害対応訓練について、前期に訓練概要、シナリオを作成し、後期はそれをもとに訓練を実施し、目標を達成した。	達成

No.	部 区 組 織 目 標	担 当 所 属	組 織 目 標	主 な 取 組 (事 業)	指 標					目 標 達 成 状 況	評 価		
					項 目 (単 位)	R1 実 績	R2 実 績	R3 実 績	R4 目 標			R4 結 果	補 足 ・ 参 考 指 標
7	3	健康福祉課	地域包括ケアシステムによる生活支援として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、継続的な支援と仕組みづくりに取り組んでいきます。	・認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進 ・認知症に関する知識の普及・啓発	認知症に関する普及・啓発活動実施回数(回)	—	—	8	10	10	・区だより、FMIについて、ポスター掲示 ・講演会1回 ・高齢者見守り月間に併せた啓発	・認知症に関する普及・啓発活動として、区だより掲載3回、FMIについて4回、ポスター等の掲示1回、講演会1回を実施。加えて、民生委員に対して、チラシを配布し見守り月間の周知を図った。 ・引き続き、普及・啓発活動を行っていく。	達成
8			「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及しながら、地域住民や関係機関と連携・協力しながら、健康づくりや福祉課題を解決する取り組みを推進します。	・障がい者への理解を広げ(つなげる)、仲間づくり(つなげる)の推進(つなげる支援ファイルの作成・配付、保護者支援の講座の開催)	つながる支援ファイル利用者数(人)	87	141	193	220	243	・つながる支援ファイルとは、医療・保健・福祉・教育・労働など各機関の支援を1冊のファイルに記録し、終年的に管理し、保護者が所持するもの	・新規サービス利用の相談時等に配付し、3月末現在で243人が利用している。 ・今後も配付を継続するとともに、関係機関等に活用方法を周知し利用を促す。	達成
9			・身近な子育て支援の充実(区づくり事業や育ちの森で開催する子育て講座の実施回数など)	子育て講演等の開催回数(回)	122	126	130	240 446	459	目標の回数は、小さな森の広場・ババママ銭湯・デイケアルームの回数や育ちの森で開催する講座の回数と子育てサポーターの訪問件数) ・講座の回数 126回 ・訪問件数 320+44回 2023年1月16日:訪問件数算定方法見直しにより目標値を修正	・3月末現在、小さな森の広場を63回、ババママ銭湯を12回、デイケアルームを24回、育ちの森で開催する講座を34回、計133回開催した。 ・3月末現在、子育てサポーターの訪問は産前、産後326件実施した。 ・合わせて459回開催・実施した。	達成	
10			・子どもを含めたフレイル予防、生活習慣病予防の普及・啓発(口コモ予防の取り組み団体への支援、小児生活習慣病予防健診後の講座の開催)	フレイル予防事業の参加延べ人数(人)	1,660	801	820	1,000	1,220	フレイル予防教室・講座、地域イベントでのフレイル啓発事業へ参加延べ人数	・子どもを含めたラジオ体操普及を4団体で実施し、100日達成者は207人。R3は65人であり、新規で体操継続できた人が大幅に増加した。 ・地域の茶の間での健康教育や地域の文化祭などのイベントで、フレイル予防の啓発事業に参加した人は延1,013人であった。	達成	
11			事業参加者の生活習慣の重要性に対する理解度	—	—	—	70%	79%	目標値は、事業参加者へのアンケートから算出	・小児生活習慣病健診及び講座を各1回開催した。 ・生活習慣に関するアンケート7項目の結果では全項目で重要性の理解が70%を超えた。	達成		
12	4	産業振興課	里山の魅力発信や里山と結びつけたまちなかの活性化、次世代につながる環境教育を行います。	・里山未来創造事業	Akihaマウンテンプレーパークの参加者数(子供参加数)	1,907	—	1,717	1,800	1,627	令和2年度実績 26回1,098人 令和3年度は32回実施 ※コロナ中止2回 悪天候中止1回	・34回開催(平均48人/回)が利用 ※熱中症対策で中止1回(8/6) ・参考:うち市外参加者211人(13%)	未達成
13			地域資源を活かし、秋葉区の交流人口の拡大を図ります。	・わくわく石油楽習広場	わくわく石油楽習広場参加校数	—	—	—	3	5	石油資源を活用した学校連携事業 石油の世界館友の会等が講師	・区内小学校5校(6年生251人)が参加。 開催期間10月中旬～11月中旬	達成
14			・秋葉「鉄道物語」	JR、商店街、観光協会との鉄道の街にいつ連携事業数	4	2	3	3	4	JR、商店街など各組織と連携し、交流人口の拡大に努める。	・観光案内所の開設とレンタサイクルの実施 ・鉄ぶら(9/1～10/31) ・鉄道まつり(10/8) ・乗って楽しい列車大集合ほか(10/15)	達成	
15			・花まる鉢花支援事業 ・園芸推進費(既存事業)	秋葉区内花き関連団体連携事業数(新潟県花き出荷組合・新潟県花木振興協議会・新潟県立植物園・花夢里・新津FL・うららこすど)	—	—	5	5	5	現在、各団体と連携して行っている花卉・花木振興事業を新しい生活様式に合わせて展示PRを中心に実施する。	・遠方市場への輸送費支援事業 ・新日本海フェリー10/10～12/4アザレア展示 ・越の花かざり参加11/3～11/6 ・フラワーウェブ参加2/23～2/26 ・ボケ展実施3/3～3/6 ・ネスバスで展示、販売2/25～2/26	達成	